

# 平成29年度 施策評価表

課・グループ名	保健福祉課健康子育てグループ
---------	----------------

作成年月日：平成30年9月27日

施策名	4-(2)-② 感染症予防対策の推進と充実		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	4. 健康的で自立した暮らしを支える保健福祉と医療の整ったまちづくり	(2) 町民の健康づくり対策	②感染症予防対策の推進と充実
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予防接種について、対象者への個別案内だけでなく、あらゆる場面での周知を行い、接種率の向上を図ります。</li> <li>● 任意予防接種のおたふくかぜの接種料金無料化を継続し経済的負担の軽減をすることで、接種率の向上を図ります。</li> </ul>		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食中毒やノロウイルス等の感染予防について町民及び各施設へ健康教育等により周知しています。</li> <li>● 乳幼児、児童、高齢者の定期予防接種を実施しています。</li> <li>● 任意予防接種のおたふくかぜ予防接種の全額公費助成により自己負担の無料化を実施しています。</li> <li>● 感染症予防、予防接種の正しい理解について、広報や対象者への個別案内等の他に、健康教育において周知しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食中毒やノロウイルスなど発症や感染拡大予防のための、正しい知識のさらなる普及が必要です。</li> <li>● 乳幼児の定期予防接種の種類が増加しているため接種率向上を図るため、十分な住民への周知や情報提供が求められています。</li> </ul>	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名			数値化	
	任意予防接種であるおたふくのワクチンの接種費用を全額公費助成していることにより、任意予防接種接種率を代替指標として設定している。		成果指標 (総合計画・施策評価)			可能	
						不可能	
			代替指標 ※成果指標がない場合			未計測	
			感染症任意予防接種率			○ 可能	
					不可能		
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H26	H27	H28	H29	H33	
目標	%	70	70	70	70	80	任意予防接種の助成は月2回の町立病院のみの委託となっており、接種機会が少ないことが達成率が少ない要因のひとつとなっている。
実績	%	41	27	30	37		
達成率	%	58.57	38.57	42.86	52.86		
評価視点		評価結果				理由・課題・問題点	
③ 施策の達成状況	A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)		<b>施策の達成度</b>  <b>B</b>		定期予防接種については、ほとんどが接種しており、未接種者については健診、個別はがき等で勧奨している。任意予防接種のおたふくかぜは、町立病院のみの委託となっているが、今後、他機関でも助成可能な機会を検討していくことが必要である。		
	B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)						
	C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)						
	D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)						

### 3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類	【必要性】事務事業の必要性	【妥当性】町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

#### ①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H29)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	単位					H29実績	H30予算	
					実績								
1	感染症予防事業	(1)	保健福祉課	接種率 (おたふくかぜ)	70	%	・感染症の発症と重症化の予防を図るため予防接種と予防の啓発を行う。 ・任意の予防接種であるおたふくかぜは、公費負担により自己負担を軽減する。	I	I	見直して継続 ↓ 手段の見直し	14,843	高い	
					37	%					18,656		
2													
3													
年度別施策全体の事業費合計(千円)													
											H29事業費	14,843	
											H30予算	18,656	

#### ②H30に実施した新規事務事業

	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H30予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	定期予防接種の接種率は概ね高めに推移しており、さらに任意予防接種であるおたふくを接種することで、合併症を防ぐことができる。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	事業構成の妥当性  B	

#### 4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	【評価】 特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の方向性  優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成30年度以降の予算の方向性	
			A						
			B						拡大
			C	1					維持
			D						縮小